

特別講演会

家族を学ぶ 時代の到来

どう教え、どう学ぶか (講義とワークショップ)

概要

今日の日本社会では、子育て、虐待、DV、ひきこもり、貧困、失業、少子化、高齢化、介護、医療、自殺など、個人・家族の生活をめぐる問題が極めて深刻化しています。個人・家族が、自ら生活課題を直視し、問題点やニーズに基づいて、解決策を探るための予防的知識やスキルが不可欠な時代がきました。家族をどう教え、どう学ぶかについて、米国など諸外国の事例も交えながら、講義とワークショップを通じて、考え、体感したいと思います。

講師の紹介

左から、山下、倉元、正保



倉元綾子 鹿児島県立短期大学生生活科学科・准教授・医学博士
1955年生まれ。1977年奈良女子大学卒業(家政学士)、1980年奈良女子大学大学院修了(家政学修士)、1984年大阪市立大学医学部大学院修了(医学博士)、同年神戸女学院大学家政学部・助手、1990年湊川女子短期大学・助教授、1994年鹿児島県立短期大学生生活科学科・助教授(のち、准教授)

山下いづみ ホームエコノミスト、FLEふじ・科学修士
1964年生まれ。2001年インディアナ州立大学教育学部初等・幼児教育学科卒業(教育学士) / 家族消費者科学部子ども発達・家族生活学科(家族消費者科学士)、2003年ミンガン州立大学大学院ヒューマン・エコロジー学部修士課程修了(科学修士)、全米家族関係学会(NCFR)ファミリー・ライフ・エデュケーター(CFLE、家族生活教育者)資格取得。日本帰国後、地域で家族生活教育講座を展開。

正保正恵 福山市立大学教育学部・教授・博士(学術)
1959年生まれ。1983年奈良女子大学家政学部生活経営学科卒業(家政学修士)、1992年岡山大学大学院教育学研究科家政教育専攻修了(教育学修士)、同年福山市立女子短期大学・講師(のち、助教授、教授)、2008年神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了(博士(学術))

共通の著書：『家族生活の支援—理論と実践—』(日本家政学会家政教育部会編)・共通の翻訳書：『家族生活教育：人の一生と家族』(倉元綾子・黒川衣代編)・共通の論文：「台湾における「家族教育」～日本の家政学が家族に貢献するための基礎的研究～」ほか。

主催 福山市立大学教育研究交流センター
共催 (一社)日本家政学会 家政教育部会
後援 (一社)日本家政学会 家政学原論部会



2014年 13:30~15:30
8月23日(土) 開場 13:00

会場 福山市立大学 中講義室A (研究棟 1F)
参加 無料
定員 先着 100名 申込受付 8月3日~

申し込み方法

講演会名・住所・名前(ふりがな)・電話番号・Fax番号をご記入のうえ、Fax、E-mail 又はハガキでお送りください。受講が決定した方には受講票を送付しますので当日ご持参ください。

申し込み・問い合わせ

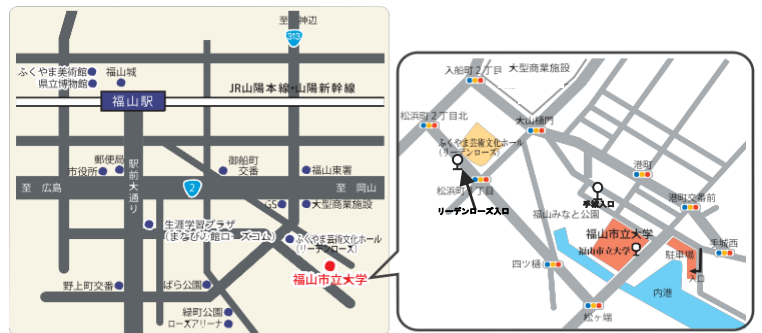
福山市立大学教育研究交流センター
〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号
Tel:084-999-1115 (平日9:00~16:00) Fax:084-928-1248
E-mail : koryu@fcu.ac.jp
URL : <http://www.fcu.ac.jp/info/lecture/index.html>

交通アクセス

[福山駅前からバスで]

- ②番乗り場「手城經由鋼管病院線」で「手城入口」下車、徒歩5分
 - ⑩番乗り場「まわローズ」で「リーデンローズ入口」下車、徒歩10分
- [駐車場]

大学から市道福山港沖野上線を挟んで東側に約60台分、身体障害者用2台分。※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共機関をお使いください。



福山市立大学 教育研究交流センター特別講演会

「家族を学ぶ時代の到来 どう教え、どう学ぶか(講義とワークショップ)」参加申込書

ふりがな お名前	ご住所 〒		
Tel () -	Fax () -	* No.	

* 印欄は教育研究交流センターで記入します。

ご記入いただいた情報は、受講票の送付や定員オーバーの際の連絡、講座のご案内に利用します。